

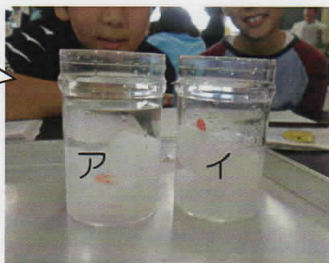
「班で学び合いタイム」(自分の考えを班の友達に伝え、考えの共通点や差異点を見つけ、話し合って班の考えをまとめる時間)

お互いに自分がノートにまとめた実験計画を発表し、実験方法について話し合いました。また、条件制御、水の量や場所設定も考えました。



ア：空気に触れている種子

イ：空気に触れていない種子



空気以外の条件は変えない方がいいと思う。



どこに置いたらいいかな？

コップ、脱脂綿、インゲン豆の種子、水を使って実験の準備をしています。



「学級で学び合いタイム」各班の実験計画を発表しました。



<教職員による研究協議会から・・・>

- 「学び合いタイム」では、自分の考えたことを友達に伝えることができていた。
- 子供たちが授業の流れに沿って、良く考え、発言できていた。
- 種子を脱脂綿の上か下かに置くかで条件が変わるので、同じ条件にした方がよい。
- 実験器具を最初に各班 2 セット渡したが、1 セットにした方が、実験方法など色々な考えが出ると思う。



<畑中喜秋先生による指導講評>

- ・授業の中で、子供たちが科学的な方法を学ぶことができていた。
- ・条件制御の授業の中で一番難しい条件である空気であったが、良い授業であった。
- ・空気が必要か否かの意見が出そろった時に、両派の議論があると良かった。議論によって、思考力を深めることができる。
- ・教師の誘導ではなく、子供たちが問題解決をすることができていた。
- ・どの班も同じような実験計画を立てられていて、目標を達成できていた。
- ・学級で学び合いの後にも、話し合いがあると良かった。
- ・実験では、種子を1つずつではなく、5つぐらい使用した方がよい。